

〈隷書〉

(この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

吉田成美先生書



〈行書〉

清原大龍先生書



□ 懐を澄し塵慮を屏く。

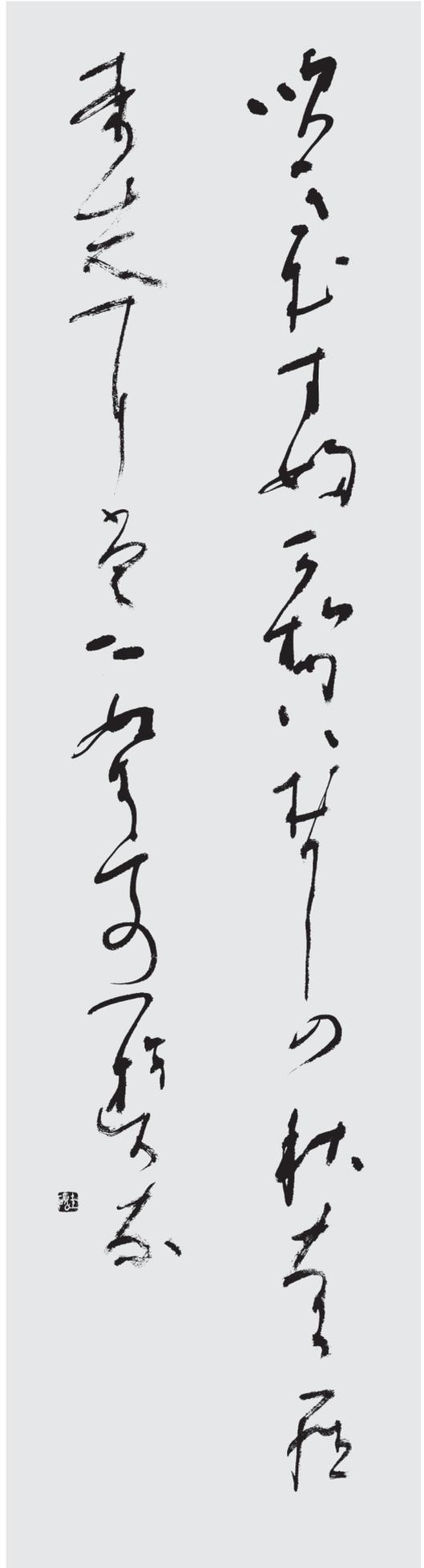
(汪棣)

心を清くして塵俗のかんがえを退け去る。

次号予告「雪中放馬朝尋跡 雲外聞鴻夜射聲」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□ 吹きむす婦ふ 可勢かせ八む可かしの 秋あきな可羅から あり志し耳に裳も二ぬ そてのつ遊ゆ可かな
 吹きむすふ 風はむかしの 秋なから ありしにも似ぬ 袖の露かな

△新古今和歌集 三二二 小野小町▽

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

井之上 南 岳先生臨

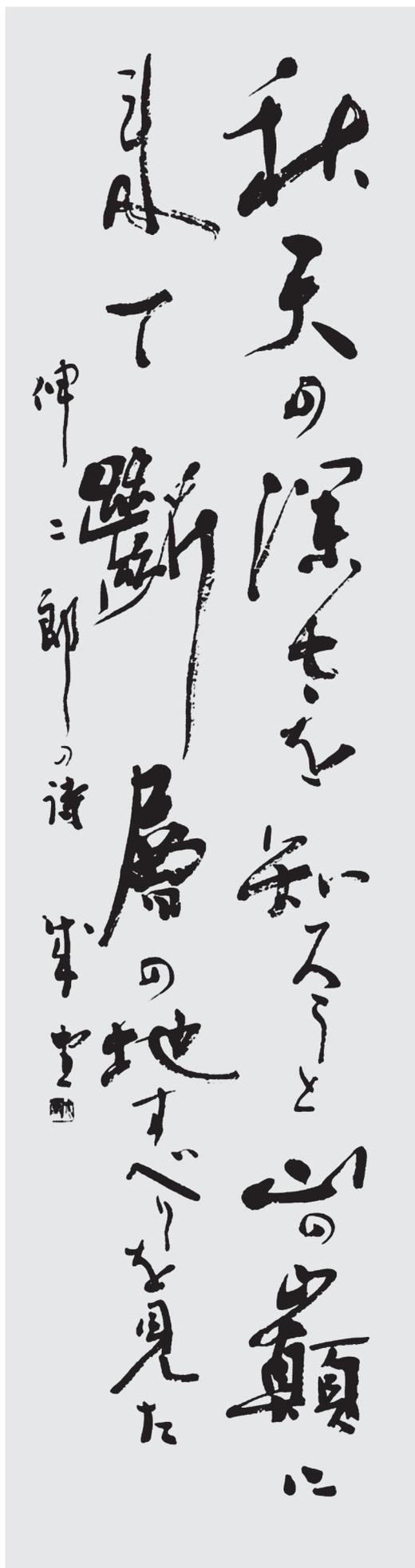


▽興福寺断碑

不曉玉犬吠而秋以暮塵將軍於地下意氣

条幅随意 (この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

吉田成堂先生書



□断層 藏原伸二郎の詩 秋天の深さを知らずと 山の巔にきて 断層の地すべりを見た

条幅随意 (半折1/2横のみ) (この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



山本飛雲先生書

□ 霊れい 根こん

すべての人にそなわるれいみょう 靈妙 (人知でははかり知れないほどすぐれていること) なたらきのこと。

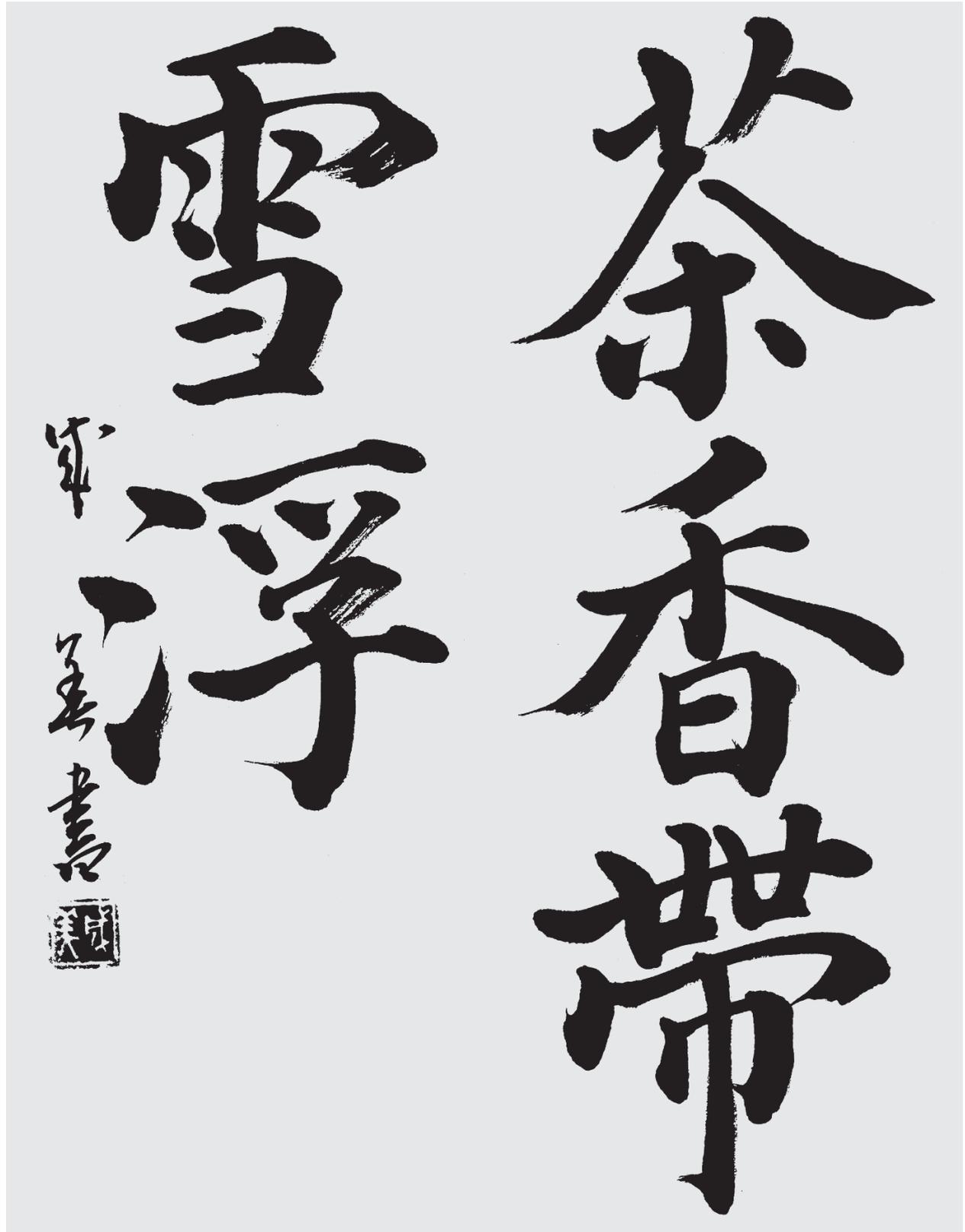
— 禅林名句墨場辞典 —

△手本 (課題例) にとらわれず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課目ごとに横1/2に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意 (半折1/2) 漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

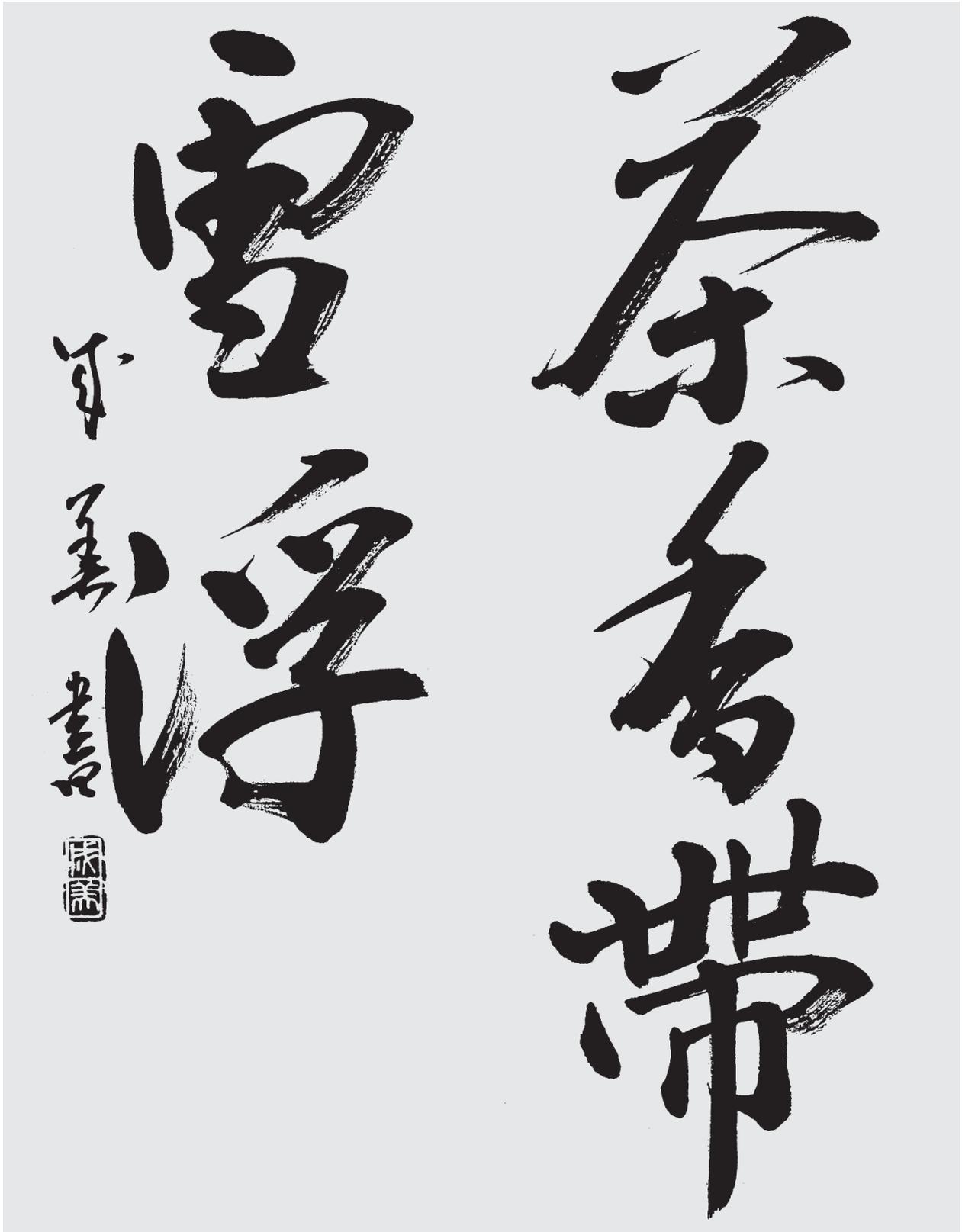


□ 茶香雪を帯びて浮ぶ (王九徵)
汲みだした茶は 雪の如き泡を立てて香ばしい。

次号予告「山月夜窓寒」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)



□ 茶香雪を帯びて浮ぶ (王九徵)
汲みだした茶は 雪の如き泡を立てて香ばしい。

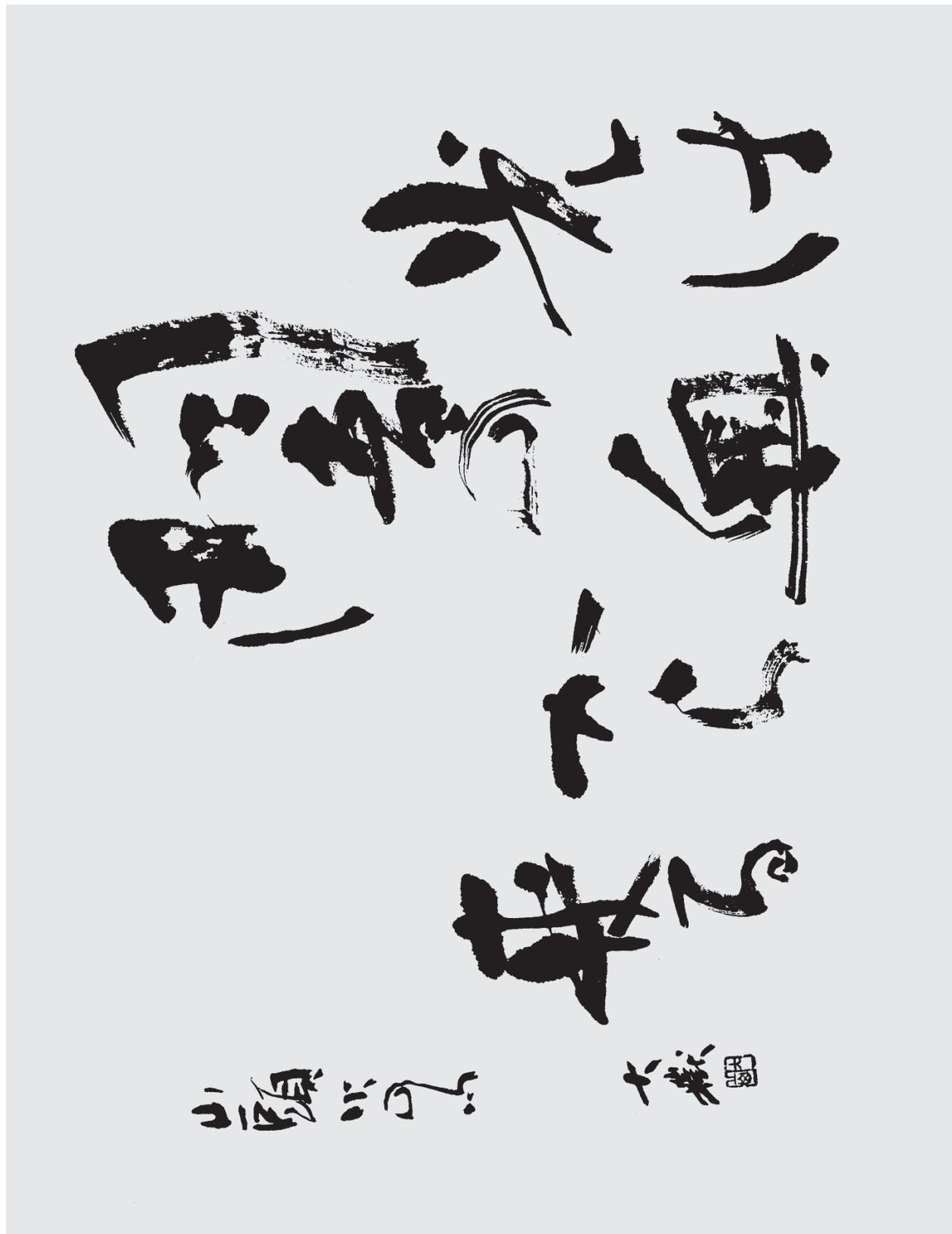
次号予告「山月夜窓寒」

吉田成美先生書

半紙随意参考手本 — 11月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります。



△詩文書▽
光は
闇の奥から
来る
△種田山頭火の句▽

渡 邊 大 嶽 先 生 書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

▽興福寺断碑



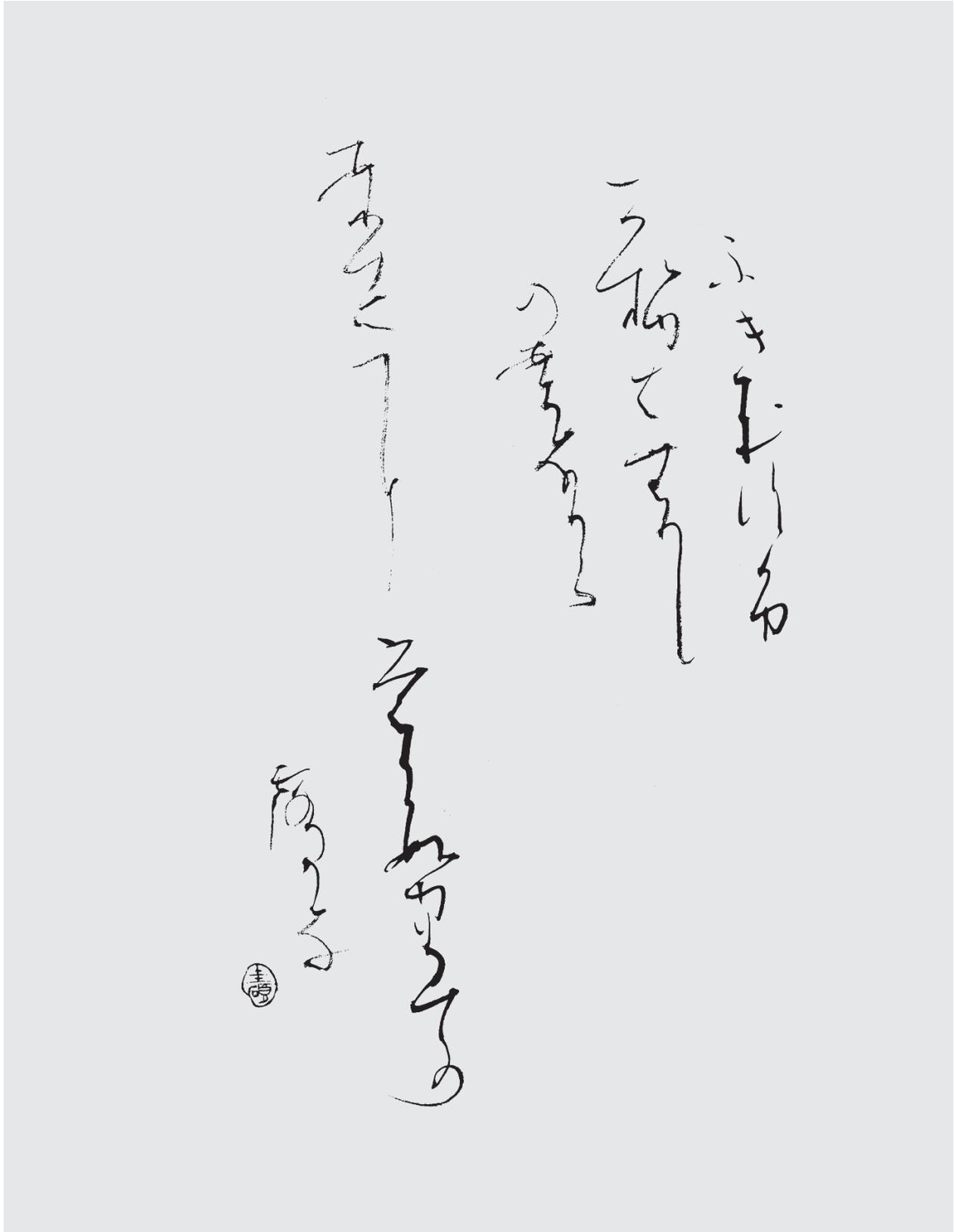
△臨書▽ 一字の中の余白に留意して、懐の広い字形を心掛けましょう。

「鶏鳴而春不曉」

大坪桂子先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

吹きむすふ 風はむかしの 秋なから ありしにも似ぬ 袖の露かな



△仮名▽ ふきむ須^すふ 可^か勢^せ者^は無^む可^かしの あ^あ支^きな可^から あり志^し耳^に裳^も尔^に努^ぬ そての露^か可^かな

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

△実用書▽

因州和紙
堺打刃物
奈良筆
紀州筆筒
近江上布
出石焼
京友禅
鈴鹿墨

近江上布	堺打刃物	紀州筆筒	因州和紙
鈴鹿墨	京友禅	出石焼	奈良筆

姓号

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書▽

拝啓 里山に目を向けると、紅葉が美しく色づいていますが、風邪など召されていませんか。先日は、同窓会の案内状をありがとうございます。久し振りに是非皆に会いたいのですが、出産予定日が近づいてくることもあり、残念ながら、今回は参加するのが難しく感じています。せっかくの機会なのに申し訳ないです。また、次回の案内を楽しみにしています。幹事さん、お疲れさま。ご盛会をお祈りいたします。

敬具

野のある便箋に書いてみよう。 26 cm × 18 cm 紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書



今月のかきかたドリル (形や注意する点に気をつけてゆくり書こう！)

中学	小学6年	小学5年	小学4年	小学3年	小学2年	小学1年	ようねん
春	漢	率	受	植	作	車	あ
春	漢	率	受	植	作	車	あ

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元紫香先生書

思いやり

小学4年

天の子

小学3年

いのり

小学2年

はげせ

ようねん・小学1年

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

敬愛の念

中学2・3年

新しい元号

中学1年

国民の声

小学6年

進歩する

小学5年

秋永春霞先生書

△条幅¼ || 四尺画仙紙半折¼ : 68 cm × 17.5 cm ▽

□「い」「り」の一画目のハネは、ゆっくりしていねいに、二画目へ気持ちをつなげましょう。



小学二年

次号予告「マンモス」

□「は」はハネの筆つかい、「ぜ」は筆順と、二・三画目の長さの違いに気をつけましょう。



ようねん・小学一年

次号予告「かね」

坂元紫香先生書

□「思」の田と心のバランスに注意し、ひらがなのハネ、ハライはゆっくりと。



小学四年

次号予告「白鳥」

□「天」の字形は台形に保ち、「子」はハネの方向に気をつけ、懐の広い文字にしよう。



小学三年

次号予告「立冬」

吉田成美先生書

段級	
氏名	
を	を
り	り
も	も
ク	ク

小学一年

「おおーむむーええ」
「とける」

段級	
氏名	
び	び
お	お

吉田成美先生書

「いっばんながく
じやーと上」

坂元紫香先生書

段 級	
氏 名	
大豆は「タイム」といって植	
物のたねで「えだに」い	
たさやの中に「ニン」が三	
つのたねが入っている。	

小学三年

一二百豆 木村植植 (かくで書く) (しん) 物物 (はねる) (はねる)

段 級							
氏 名							
何	か	の	作	り	方	や	つ
か	い	方	あ	そ	び	方	
が		書	い	て	あ	る	本
を	読	ん	て	み	よ	う	。

①立てよこせんにつける ②はねる ③ながくつぎでる ④はねる ⑤はねる ⑥はねる ⑦はねる ⑧はねる

坂元紫香先生書

小学四年

テビ ^① でも新聞 ^② も受け		手が知 ^③ りた ^④ に ^⑤ は何か		送り手 ^⑥ が伝 ^⑦ えた ^⑧ に ^⑨ とは		何か ^⑩ を考 ^⑪ えて ^⑫ いる ^⑬ ので ^⑭ す。	
段	級	氏	名	段	級	氏	名

①「^①まてない」
 ②「^②はねる」
 ③「^③はねる」
 ④「^④問をあげる」
 ⑤「^⑤問をあげる」
 ⑥「^⑥はねる」
 ⑦「^⑦問をあげる」
 ⑧「^⑧はねる」
 ⑨「^⑨問をあげる」
 ⑩「^⑩はねる」
 ⑪「^⑪問をあげる」
 ⑫「^⑫はねる」
 ⑬「^⑬問をあげる」
 ⑭「^⑭はねる」

小学五年

残雪 ^① は油断 ^② なく地上 ^③ を見下		ろしながら ^④ 群れ ^⑤ を率 ^⑥ いてや		て来 ^⑦ ました ^⑧ 。そし ^⑨ て ^⑩ ふと ^⑪ いつ		もの元 ^⑫ 六場 ^⑬ に ^⑭ 昨日 ^⑮ まで ^⑯ なが		た小 ^⑰ さな ^⑱ 小屋 ^⑲ をみ ^⑳ とめ ^㉑ ました ^㉒ 。	
段	級	氏	名	段	級	氏	名	段	級

①「^①まてない」
 ②「^②はねる」
 ③「^③問をあげる」
 ④「^④はねる」
 ⑤「^⑤問をあげる」
 ⑥「^⑥はねる」
 ⑦「^⑦問をあげる」
 ⑧「^⑧はねる」
 ⑨「^⑨問をあげる」
 ⑩「^⑩はねる」
 ⑪「^⑪問をあげる」
 ⑫「^⑫はねる」
 ⑬「^⑬問をあげる」
 ⑭「^⑭はねる」
 ⑮「^⑮問をあげる」
 ⑯「^⑯はねる」
 ⑰「^⑰まてない」
 ⑱「^⑱はねる」
 ⑲「^⑲問をあげる」
 ⑳「^⑳はねる」
 ㉑「^㉑問をあげる」
 ㉒「^㉒はねる」

小 畠 秋 聲 先 生 書

坂 元 紫 香 先 生 書

漢字は、一字一字が意味を表します。二のようが文字を表意文字といえます。二れに對して、仮名は、意味を表さず音だけを表す文字です。二れを表音文字といいます。		段 級	氏 名
------------------------------------------------------------------------------	--	--------	--------

①上の横画より長い
②長めにはねる
③とめる
④はねる
イ 漢 漢 漢 一 十 主 表 表 表 ヲ ナ 文 文 対 対

四季にはそれぞれ自然の美しさがあります。冬の雪、秋の月、春の花はその代表的なものであるとされ、「雪月花」とい言葉は、日本の自然美をいう場合にも用いられます。		段 級	氏 名
--------------------------------------------------------------------------------	--	--------	--------

①上のよこがより長い
②ハヤ 差 差 美 一 三 主 表 表 表 春 春 春 ヲ 月 月 月 用
③かきはじめのところに
④ちゅういする
⑤はらう
⑥はねる